



## 保育の様子と自然の営み

学 園 長 小 島 澄 人

朝夕が少々肌寒くなってきました。感染者も極端に少なくなってきましたが、まだまだ油断できません。

さて、参観、行事はコロナの事を考えての計画、けど子どもたちの楽しい笑顔を、念頭に保育に当たって来ました。子どものその笑顔は本当に今もいつも変わらず、子どもが幼稚園にやって来るだけでも、先生たちの笑顔に拍車をかけてくれます。自粛、自粛で気持ちが沈んでいても子どもたちの顔、笑顔、生きがいさえ感じます。

いよいよ運動会の季節になりました。多くの方に見て貰いたい、たくさんの声援を頂きたい、子どもたちの思い出の一場面になって欲しい、そんな願いがありますが、また今年度も子どもたちの走る姿や演技を見ていただくだけの、しかも人数制限の開催となります。運動会の練習の音楽が聞こえてきますが、僅かの練習になりますし、けど子どもたちの精一杯の姿を楽しみにしてください。感染の防止と対策の徹底、それでも見せたい子どもの笑顔です。

中秋の満月を見ましたか。いよいよ秋のまっただ中になりました。次から次にと美味しい果実や野菜が「私の出番」と、やって来ます。ブルーベリーの実がまだあるのに、子どもたちはくりに夢中です。私はイチジク、銀杏、いやサツマイモの収穫が気になります。もう畑には大根が大きくなってきました。今年は柿の生り年ではないようですが、柿にぶどうもなりました。イチジクが多くなっていますが、実が繊細で甘いので来年は子どもたちにも紹介しようと思っています。もうアケビも少々色味をおび始めました。あっという間に大根も大きくなります。ミカンも青い実が大きくなり、枝がしなってきました。自然の営みはこの季節に美味しい果実をいっぱい実らせてくれます。

いやいや、子どもたちも秋の行事を通して大きく成長し、周りの仲間にも意識が行きます。この時期を大切にしていきたい。一緒に走ったり一緒に演じたり、またはクラス対抗の競技を通してまとまりや仲間を応援していきます。

秋の実りと子どもの成長、本当に嬉しいばかりです。

